公益社団法人新潟県社会福祉士会

２　０　２　２　年　度

第　　１　　号

2022 年４月７日発行

事務局だより

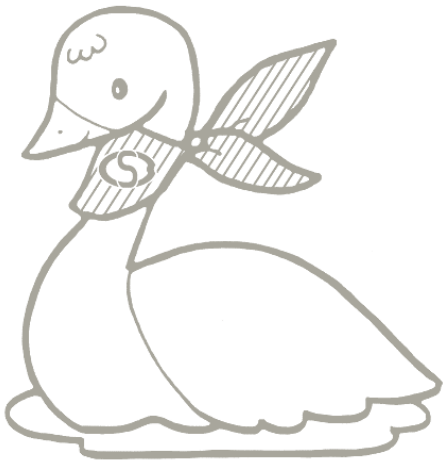
Contents

2022(令和4)年度　事業計画について	2
事務局職員、定着支援センター職員からご挨拶	4
各種研修報告(災害支援研修、愛着障害の理解と支援の基本、対人援助スキルアップセミナー、実習指導者フォローアップ研修、ぱあとなあ各地区研修)	6
会員のみなさまへ（各種ご案内、ご連絡事項）	9
2022 年度　自主活動支援　利用団体登録を受け付けます	9
2022 年度　ぱあとなあ新潟名簿登録料(基本料)の引落について	9
会のスケジュール	11
新入会員説明会のご案内	12

◇日本社会福祉士会の e-ラーニング講座　https://jacsw.informationstar.jp/

e-ラーニングは、研修を受けたい会員が自身の都合に合わせて研修を受講（聴講）することができるもので、現在、約 30 のコンテンツ（講座）が配信されています。

この e-ラーニングについては、運営経費の一部を負担している都道府県社会福祉士会の正会員は多くのコンテンツを無料で受講できることとなっています。新潟県社会福祉士会の正会員の方は、多くを無料で視聴できます。ぜひご覧ください。



■入会状況　（2022.2.28 時点）

正会員　**1,286**　名

公益社団法人新潟県社会福祉士会

〒950-0994

新潟県新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ 3F

TEL：025-281-5502／FAX：025-281-5504

メール　njacsw@poplar.ocn.ne.jp

ホームページ　https://csw-niigata.com/

ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ　https://www.facebook.com/cswniigata/

2022(令和4)年度　事業計画について

2022 年 2 月 25 日開催の理事会にて、2022（令和 4）年度の事業計画、収支予算が承認されました。以下、今年度の事業計画の主な点をご説明いたします。

事業計画書、収支予算書は当会ホームページにも掲載しておりますのでご確認ください。

（トップページ ＞ 当会について ＞ 公開情報）

■2022 年度の重点目標

１．会員が会の各活動により参画しやすい工夫と環境整備を行う。

２．各部門の研修回答は全世代の会員が参加できる内容を盛り込むよう検討する。

３．事務局の体制、各部門運営委員会等との役割分担の整理、見直しを行い、業務の効率化を図る。

■会員定時総会(予告)

【日時】2022（令和 4）年 6 月 18 日（土）午後

■入会促進活動

１．若者（30 歳未満）入会キャンペーン【全国の社会福祉士会共通】

2022 年度からの新規事業。入会年度に 30 歳を超えない方を対象に、入会初年度の経費（入会金、初年度会費）を無料とします。

２．入会紹介キャンペーン

2022 年 4 月 1 日以降の新入会員として、現会員の紹介により新規にご入会いただいた（再入会は除く）場合、新入会員の方と紹介した現会員の方両方へ、当会の研修受講費に充当できる研修クーポン（5,000 円相当、有効期間 3 年度）を進呈します。

３．学生対象・情報提供制度

登録いただいた学生に、無料で会報紙・情報メールを送付し、学生のうちから当会の活動に触れていただく制度です（※これまで「会員予備軍」制度と呼んでいましたが、現在ネーミングを見直し中です）

■会員が活用できる制度･活動(研修以外)

１．自主活動支援制度

会員によるグループが、自主的な研鑽やネットワーク構築を行なう活動を経費補助や広報などで支援します。利用・申請方法はホームページの会員専用ページをご覧ください。

２．日本社会福祉士会 e－ラーニング

新潟県士会は日本社士会に e-ラーニング負担金を納入しており、新潟県士会の正会員は多くのコンテンツを無料で視聴できます。日本社会福祉士会の生涯研修制度管理システムへのログインが必要です。

３．スーパービジョン支援

認定スーパーバイザー（社会福祉士）との個人スーパービジョンを希望する方へのマッチング支援を行ないます。また、「スーパービジョン体験会」を実施します。

４．実践報告集

会員の社会福祉士実践を発表・報告する場として「実践報告集」を編集・発刊します。第 21 号の発刊は 8 月頃を予定しており、発刊次第、会員のみなさまへお届けします（実践報告原稿は常に募集しています)。

５．各種情報提供

事務局だよりの発行（偶数月を予定)、ホームページでの情報提供、ホームページ更新情報

メールの送信などにより、各種情報をお届けします。

■各種研修等（主なもの）

研修名	担当部門	日程等
全体研修会（会員総会時）	企画部・法人研修班	6 月 18 日（土）午後
新入会員説明会（基礎研修Ⅰ兼）	生涯研修センター	6 月 26 日（日）
ソーシャルワーカーデーにいがた	企画部・法人研修班	7 月 9 日（土）
基礎研修Ⅰ	生涯研修センター	6 月～1 月
基礎研修Ⅱ	生涯研修センター	5 月～1 月
基礎研修Ⅲ	生涯研修センター	5 月～2 月
成年後見人材育成研修	ぱあとなあ新潟	6 月～9 月
ぱあとなあ新潟名簿登録研修	ぱあとなあ新潟	10 月予定
虐待対応研修会（テーマ：ナラティブアプローチ）	虐待対応委員会	7 月 29 日（金）午後
地域密着型サービス（認知症グループホーム）外部評価 新規調査員養成研修	あいエイド新潟（新潟県から選定された研修機関として実施）	検討中
司法福祉研修	地域生活定着支援ｾﾝﾀｰ	10～11 月予定
福祉関係者のための権利擁護・成年後見講座（旧・福祉関係者のための成年後見活用講座）	企画部・法人研修班 ぱあとなあ新潟	基礎編・応用編ともに年度上半期に実施予定
愛着障害の理解と支援の基本 repeat！	会員活動部・障害者支援班	6 月 4 日（土）
障害者の生活支援研修（認定社会福祉士認証研修）	会員活動部・障害者支援班	検討中
新潟県介護施設職員向け BPSD 対応研修（高齢者虐待防止研修）	会員活動部・高齢者支援班（新潟県委託事業）	1 回目：5 月 26 日（木） 2 回目：6 月 24 日（金） 3 回目：7 月 14 日（木）
新潟県地域包括支援センター職員等研修（初任者研修）	会員活動部・高齢者支援班（新潟県委託事業）	6 月頃予定
ひきこもり支援に関する研修（2022 年 2 月から延期）	会員活動部・生活支援班	7 月頃予定
困りごとを抱えるクライエントに寄り添えていますか？～ソーシャルワークの原点に立ち返る研修	会員活動部・生活支援班	8 月予定
生活困窮、母子支援、犯罪からの立ち直り、それぞれの事例からソーシャルワークのあり方を考える研修	会員活動部・生活支援班	2 月予定
相談援助スキルアップセミナー	企画部・法人研修班	1 月予定
災害支援班研修（福祉事業所における BCP）	企画部・災害支援班	2 月予定
社会福祉士実習指導者フォローアップ研修	会員活動部・人材育成 SV 支援班	8 月・3 月予定

社会福祉士実習指導者講習会	会員活動部・人材育成SV 支援班	2 月予定
社会福祉士国家試験対策講座	事務局	7 月～11 月
社会福祉士全国統一模擬試験	事務局	10 月 15 日（土）
ぱあとなあ各地区研修	ぱあとなあ新潟	随時
高齢者支援班各地区勉強会	会員活動部・高齢者支援班	随時

■自治体からの事業受託

1．新潟県地域生活定着促進事業（新潟県地域生活定着支援センター運営）
2．新潟県高齢者権利擁護相談支援事業（高齢者虐待対応専門職チーム派遣等）
3．新潟県地域包括支援センター職員等研修（初任者研修）業務
4．新潟県介護施設職員向け BPSD 対応研修（高齢者虐待防止研修）業務
5．福島県復興支援員設置業務
6．福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業（生活再建支援拠点コランショ新潟運営）
7．福島県避難者住宅確保・移転サポート業務

事務局職員からご挨拶　～趣味(または今ハマっていること)を添えて～

事務局長・田崎基です。
趣味は家庭菜園。小さい菜園ですが、今はジャガイモを作っています。

事務局員・齋藤恭子です。
今ハマっているのは、お休みの日にホームベーカリーでパン作り。焼きあがるまでのいい香りもたまりません～。

事務局次長・畠山江利です。
最近は、Nintendo Switch で一度クリアしたお気に入りゲームをリプレイしてます。ガッツリやり込み系RPG。

福島県コランショ新潟担当の川村しのぶです。
今ハマっているのは、アウトドアごはんとガーデンランチ。

事務局員の神田由起子です。
今ハマっていることは「韓国ドラマ」を観ること。娘を寝かしつけたあとの楽しみです！

事務局員の若杉望です。
趣味はコンビニの新作スイーツチェック。毎週義母を訪ねる時に必ず持っていくのですが、とても喜ばれます。

地域生活定着支援センター職員からご挨拶

～趣味（または今ハマっていること）を添えて～

センター長・本多崇人です。
趣味はジョギングとスノボ。今年はゴルフを始めたい。今ハマっているは鼻うがい。

相談員・坂井賢です。
県境コンプリート・ドライブ、車から降りない一日ドライブが趣味。

相談員・平栗華代です。
4 月より再び学生になりました。初心にかえり、学びを深めて参ります。

相談員・丸田明久です。
趣味は釣りとバイクツーリングです。

相談員・橘依理子です。
装幀や絵画をみることが好きなので、書店や美術館をめぐっています。

退職のご挨拶

新潟県地域生活定着支援センター　相談員　若井　真由美

新潟県地域生活定着支援センターに入職して一年、短い間でしたが大変お世話になりありがとうございました。また、とても楽しく仕事ができたことは、皆さんのおかげと思っております。本当にありがとうございました。思い起こせば 2014 年、とある勉強会で、当時の新潟刑務所の福祉専門官とお会いして、受刑者の中には障害者や高齢者が多くいることを伺い、心を動かされたことを覚えています。このことがきっかけとなり定着支援センターに興味を持ちました。大変なこともありましたが、それも良い思い出です。本当に楽しかったです。またお会いできることを楽しみにしています。今までありがとうございました。

【実施報告】災害に強い事業所づくり～社会福祉士がつくる福祉事業所における BCP（事業継続計画）研修会（入所施設編）

2 月 18 日（金）Zoom を使用したオンライン研修を開催。当日は当会員だけでなく、県内外 28 名の方から参加頂きました。

講師の後藤 至功 様（佛教大学専門職キャリアサポートセンター専任講師／NPO 法人さくらネット理事）より福祉事業所における BCP について、ポイントや押さえておく必要のある法制度について、実際にすぐ活用できる検討シートをもとに具体的に盛り込むべき事項などお話を聞き、BCP をただ作って終わりではなく、作ったものを日々の活動や避難訓練等で内容を検証し、修正していくことが重要という事がわかりました。

参加者からは「災害時の対応について、想定できることを事前に整理しておくことの大切さが確認できた。」「単純に水害や地震だけと考えていたが、地震が起こることによって停電となった場合など、一つの災害でも様々な場面を想定しなければならないことを学んだ。」など声が聞かれました。

今回は施設入所編でしたが、来年度以降、通所介護、訪問介護、居宅介護など他の事業所編に広げていくか検討を進めていきたいと思います。

（報告者：企画部・災害支援班担当理事　本多博樹）

【実施報告】愛着障害の理解と支援の基本

2022（R4）年 2 月 27 日（日）10：00～12:00 で、障害者支援班企画の研修会「愛着障害の理解と支援の基本」を開催しました。

近年、教育・保育・福祉・育児の現場で、見過ごせない問題として顕在している、愛着（障害）の問題が、私たちが支援に関わる障害のある方々にも介在しているという問題意識から本研修会を企画しました。

研修講師には、愛着（障害）分野における実践家・研究者の第一人者である、和歌山大学教育学部心理学教室教授の米澤好史先生をお招きし、ZOOM ウェビナーを活用したオンライン研修という形で実施しました。申し込み締め切りまでには 200 名を超える参加希望があり、当日の参加者も 178 名と、沢山の皆様から聴講していただきました。会員・非会員問わず、教育、福祉、行政、など様々な分野から申し込みをいただき、しかも遠く県外の方々からも沢山ご参加いただきました。愛着（障害）問題の関心の高さに、スタッフ一同驚くばかりでした。

先生のお話には目からうろこが落ちるようなお話がたくさんありましたが、特に筆者が小膝を打ったお話を紹介します。米澤先生は愛着（アタッチメント）の基本原理＝定義を「特定の人と結ぶ、情緒的な、こころの絆」と明快に述べられたうえで、愛着関係形成の「特定の人とは親だけをさすのではない」と明言されました。また「こころの絆の正体を突き止めたので愛着障害は必ず治りますと言わせていただいている」・・・と先生独自の理論を紹介されました。すなわち愛着の形成に必要な基地機能（絆の正体）として、先ずは恐怖や悲しみ、怒りなどのネガティブな感情から守られる・・大丈夫だよ・・と言ってもらえる「安全基地機能」、またこの人と一緒にいたらホッとする、落ち着く、いい気持になる等ポジティブな感情を生じさせる「安心基地機能」、そして一旦基地から離れ、そして戻ってきて、そのできごとを報告することができ、喜びが分かち合える、いわば精神的自立の基盤となる「探索基地機能」の 3 つの機能を解明提唱されました。特に後者の 2 つの機能は先生が独自に提唱されているものであるということでした。筆者は「こころの絆」の不全な状態が解決されないままになっているのが愛着障害であり、①愛情欲求行動、②自己防衛、③自己評価の低さなど愛情障害の三大特徴といわれる事柄が、子どもにも、発達障害をもつ人にも、大人にも、高齢者にも現れてくるものであると理解しました。

この他貴重なお話がたくさんにありましたが、紙面の都合で割愛いたします。今回の先生のお話は、設定時間の制約上、愛着障害への具体的対応方法や、愛着修復プログラムについてなど、ご用意いただいた資料の後段部分のお話をお聞きすることはできませんでした。しかし事後いただいた参加者のみなさんからのアンケートにも、後段の話を聞きたいとする声が多数寄せられました。当障害者支援班担当の本間奈美理事と畠山事務局次長の迅速な対応で、来る 2022 年 6 月 4 日（土）改めて米澤好史先生をお招きして、講義の第 2 弾を 1 日研修（10 時～12 時、13 時～15 時を予定）という形で開催することになりました。ご期待下さい。詳細は本号事務局だよりをご参照下さい。

（報告者：会員活動部・障害者支援班運営委員　宮越亮）

【実施報告】対人援助スキルアップセミナー「応える」～だれもが共に生きる社会のために～

3 月 5 日（土）、Zoom ミーティングにて開催し、当会会員を中心に 23 名から受講いただきました、

現在、医療、福祉など様々な分野で、意思決定支援に基づく取り組みが行われています。意思決定支援を実践する対人援助の場面で、対象者の話をしっかり聴けているか、「面倒くさい人」「自己責任」と言っていないか、「支援者や周囲の都合」による支援に偏っていないか、話し合い、疑問や矛盾に感じていることを意見交換しながら学ぶ研修として開催しました。

新潟市西蒲区で長年障害者支援に携わってこられ、現在は、全国 TS（トラブルシューター）ネットワーク代表世話人としてもご活躍の新潟 TS 竹田一光氏を講師に迎え、とことん「応える」ためにどうしたら良いのか、何が出来るのかを、ブレイクアウトルームでのグループワークも行いながら、参加者全員で考えることができた研修となりました。

（報告者：企画部・法人研修班運営委員　星山大）

【実施報告】実習指導者フォローアップ研修

令和 4 年 3 月 17 日（木）に実習指導者フォローアップ研修をオンラインで実施し、約 30 名の方が参加しました。先月実習指導者講習会を終了したばかりの新人実習指導者の方から経験豊富なベテラン実習指導者の方まで幅広い参加者となりました。

研修内容についてはまずは新カリキュラムの実習内容で変わることを簡単に共有し、次に新カリキュラムになっても変わらずに指導者が大切にしてくことについて話題提供を行ってから２回のグループワークを行いました。１回目のグループワークでは主に新人実習指導者からベテラン実習指導者に実習を受け入れる際に生じる不安や悩みを相談できる機会としました。まだ実習指導をしたことがない指導者にとっては指導者としてスタートを切るための勇気をもらえたのではないでしょうか。２回目のグループワークについては新カリキュラムに移行してからの指導方法について意見交換をしました。カリキュラムが変わる＝指導方法も大きく変わるのではないかと不安に思っていた指導者も多くいましたが、意見交換をする中で指導の軸は変わらないことに気が付くことができ安心できたようでした。

今回の研修では実習指導者同士のつながりを深めることも目的にしていました。グループワークでは時間が足りないくらい盛り上がっていたので指導者の皆様の熱意を感じることができました。しかし、以前のように親睦会が開けない中で研修後に指導者同士が繋がりをどのように深めていけばいいのか考えていませんでした。研修後のアンケートで投げかけたところいいアイディアがたくさんありましたので次回の研修から参考にさせてもらおうと思います。

本年度も実習指導者の皆様にとって有意義な研修を企画致しますので今後も参加お待ちしております。また、実習指導者フォローアップ研修についてこんなことしてほしいということがあれば遠慮なく新潟県社会福祉士会事務局へ連絡をください。よろしくお願いいたします。

（報告者：人材育成・SV 支援班担当理事　廣川真之輔）

【実施報告】高齢者支援班・魚沼地区勉強会　困難事例の対応力を高める 2021「ゴミ屋敷を紐解く」

3 月 26 日（土）、Zoom にて開催。会員 40 名、非会員 15 名の計 55 名参加。

京都高齢者生活協同組合くらしコープ専務補佐、三愛合同会社社会福祉事務所代表社員の奥谷和隆氏を講師にお招きし、いわゆる『ゴミ屋敷問題』をテーマに、ゴミ屋敷になる理由や解決方法についてご講義をいただいた。

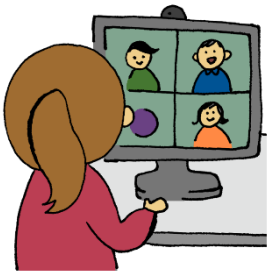
単に、ゴミ屋敷が社会的に迷惑な状態で、どのように処分していくかを考えるのではなく、そこまでに至る経緯やご本人の能力などについて考慮し、関係者で知恵を出し合いながら対応していくことが重要である。また、本人が片づけに中々同意をしないことも多いが、関係を途切れさせずタイミングを待つことも必要である。他者から見ればゴミにみえても本人にとっては必要で大切なものである。「ゴミ屋敷」を「物屋敷」「倉庫屋敷」と捉えなおし、向き合っていかなければいけないことに気づかされた。

後半は、グループワークに取り組んだ。講師から事例を提供していただき、ケースの見立てや対応策を話し合うと共に、受講者が実際に関わっているケースの情報共有等も行われた。それぞれの経験

の中で同じようなケースに関わった受講者もおり、答えは出ないものの、日々の業務の参考になった様子も見受けられた。

人口１万人にひとつはこのような世帯があると講師よりお話があったが、今回多くの参加者があったことからみても、『ゴミ屋敷問題』は多くの社会福祉士が日々悩みながらも向き合う地域課題であると改めて認識した。

（報告者：高齢者支援班・魚沼地区委員　栗原勝彦、髙橋愛）



ぱあとなあ新潟 地区研修報告

■佐渡地区

3 月 12 日（土）新穂公民館にて、第 4 回佐渡地区研修会を実施。名簿登録者 7 名参加。

第 3 回佐渡地区研修において、「中核機関の機能と佐渡での現状と今後について」をテーマに佐渡市社会福祉協議会 成年後見センターから講師を招いて研修した内容について、参加出来なかった会員を対象に伝達研修を行った。

参加者の意見として、①後見センターに従事している職員の社会福祉士としての専門性や、社協の培ってきた地域のつながりが中核機関の機能に活かされている。②市民後見人を地域全体で支える仕組みが機能している。③後見活動に苦慮している親族後見人へのフォロー体制が拡充すると良い。④佐渡圏域では社会福祉士会入会の声かけはしているが、ぱあとなあ会員はすぐには増えない為、市民後見人が増えることは好ましい等の発言があった。伝達研修を通して、社協の取り組みや市民後見人・被後見人等を支える体制づくりへの理解を深める機会となった。

後見活動等に関する意見交換として、後見人として対応ができない場合ついて意見交換した。対応としては、①後見人としての活動が出来ない場合の緊急連絡先登録書（家族や同僚社会福祉士等）を事務局へ届け出ている。②一時的に島外に出かける場合は、在宅の担当ケアマネや包括等、入院中の病院、入所中の施設へ事前に相談している。③死亡確認も直接後見人が行かなくても病院で対応してもらい、業者に安置を依頼している等の意見交換があった。受任していない期間に一時入院を経験した会員もおり、上記対応や緊急時に何がどこにあるのか緊急連絡先に登録してある人に分かるようにしておく等、リスクマネジメントとして受任時に決めておく必要性を再認識した。

（報告：ぱあとなあ佐渡地区運営委員　海老由紀、佐々木伸一郎）

■上越地区

3 月 12 日（土）、Zoom にて実施。会員 11 名参加。

新型ウイルス感染が拡大する状況下であり、今回は ZOOM 開催となりました。会員の皆さんからはコロナ禍での後見活動の報告や意見交換を行いました。病院や施設に入院・入所されている被後見人等とは面会ができない期間が長期にわたり、その影響で後見人等の認識ができなくなってしまい、その後の面会では不穏になられ面会にならなかったという体験談を聞かせていただきました。

面会することはたいへん重要な関わりですが、それだけが身上監護ではないと思います。被後見人に会えない中でも、被後見人のことを考え、病院・施設職員等と連絡を取りながら被後見人の生活や権利が守られているか情報を得ていくことが必要なんだと思います。そして、コロナ禍での意思決定支援のあり方について話題が広がり、入院中の被後見人とは面会ができない＝直接意思確認ができない中で、病院で働く会員さんは「被後見人は自分の思いや希望を（被後見人に）話せる時間がなくなった」と代弁されました。被後見人の意思の推定に基づく代行決定や最善の利益に基づく代行決定等について、参加者一人ひとりが、自身の活動を振り返り、考える機会となりました。

会員の皆さんにおかれましては、年度末の忙しい中、参加してくださり、ありがとうございました。

（報告：ぱあとなあ上越地区運営委員　佐藤昭雄、荒井琴美）

会員のみなさまへ(各種お知らせ、お願い)

■2022 年度　自主活動支援　利用団体登録を受け付けます

当会では、会員が他の会員や社会福祉士、福祉関係者等とのネットワーク構築や研鑽を行う自主的な活動を支援するための『自主活動支援』の制度を設けています。

所定の要件を満たした会員グループの活動に対し、経費補助や広報支援等を行う制度です。

2022 年度の利用団体登録の受付を開始しておりますので、登録を希望する団体は、当会ホームページにてガイドライン等をご確認の上、「利用登録（助成金）申請書（様式 A)」をご提出ください。

●自主活動支援のガイドライン、申請書様式は、当会ホームページ（会員専用ページ内）に掲載しています。ダウンロードしてお使いください

https://csw-niigata.com/member/procedure

（トップページ＞会員の方へ（正会員専用、ログイン必要）＞事務手続き関係＞自主活動支援制度について）

●ダウンロードが難しい方にはメールでも提供いたしますので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。

●支援内容として助成金（経費補助）を希望する場合は、利用を希望する年度の 4 月末までに「利用登録（助成金）申請書（様式Ａ)」をご提出ください。

●支援内容として助成金（経費補助）を要しない場合は、申請は随時受け付けます。

●利用登録申請は年度ごとに必要です。前年度までに利用登録をしたグループが 2022 年度も登録を希望する場合は、再度申請手続きを行ってください。

■2022 年度　ぱあとなあ新潟名簿登録料（基本料）の引落について

令和 4（2022）年度のぱあとなあ新潟後見人等候補者名簿登録料（基本料／年 8,000 円）について、**2022 年 5 月 27 日（金）に口座引落を実施予定**です。

ぱあとなあ新潟の名簿登録者のみなさまにおかれましては、口座残高等のご確認をお願いいたします。

なお、名簿登録料の「加算料」、および 2021 年度分の新規受任コーディネート手数料につきましては、追って対象の名簿登録者の方へ個別に文書で通知する予定です（5 月頃を予定)。

■メールアドレスのご登録をお願いいたします

当会では、メールアドレスをお知らせいただいている会員のみなさまへ、研修案内やホームページ更新情報など会からのお知らせやご連絡事項を、随時電子メールで配信しております。

新たに電子メールでのお知らせを受け取りたい方、メールアドレスを変更したい方は、下記の通りメールアドレスのご登録をお願いいたします。

【メールアドレスご登録（変更）方法】

njacsw@poplar.ocn.ne.jp へ、登録したいメールアドレスからメールをお送りください。その際、メール本文にて氏名・会員番号をお知らせいただき、メールの件名は「メールアドレス登録希望」としてください。

■ご住所･お名前･ご勤務先等の変更が生じたら

お名前やご自宅のご住所、ご勤務先等の変更が生じた場合は、新潟県社会福祉士会事務局までご連絡をお願いいたします。

特に、ご自宅住所が変わられた場合、変更の届け出がないと当会や日本社会福祉士会からの送付物が届かなくなってしまいます（事務局だより等の発送は、主にヤマト運輸のメール便を使用しているため、郵便局への転居届による転送の対象外となります)。

ホームページの「お問い合せフォーム」からのご連絡でも結構です（会員登録した内容に変更がある場合､｢お問い合わせフォーム｣よりお問合せ内容の欄に､変更する項目をご記入のうえ､送信してください)。

■最近当会に届いた他団体の刊行物

・民事法研究会
「実践成年後見№97（特集：適切な後見人等の選任を考える）」
・全社協
「月刊福祉３月号（特集：ジェンダーの今と福祉にできること）」
「月刊福祉４月号（特集：再考 リスクマネジメント）」
・公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート
「公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート 20 周年記念誌」
・認知症介護研究・研修仙台センター
「高齢者虐待における死亡・重篤事案等に係る個別事例検証による虐待の再発防止策への反映についての調査研究事業 報告書」

※その他、定期購読している「福祉新聞」（週刊）、各都道府県社会福祉士会が定期発行している広報紙等があります。いずれも、事務局でいつでも閲覧可能です。

■社会福祉士国家試験に合格した方へ、入会をご案内ください！

2022 年 2 月 6 日に実施された「第 34 回社会福祉士国家試験」の合格発表が、3 月 15 日（火）に行なわれました。

受験者数 34,563 人（昨年度は 35,287 人）、合格者数 10,742 人（昨年度は 10,333 人）
合格率 31.1%（昨年度は 29.3 %）、合格点 105 点以上
＊詳細は下記のサイトでも確認できます。
厚生労働省ホームページ　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24089.html
社会福祉振興・試験センター　http://www.sssc.or.jp/index_goukaku.html

会員のみなさまの周りに見事合格された方がおられましたら、ぜひ当会への仲間入りをお声がけください。

★「社会福祉士会に入ることで何ができるの？」とのご質問には、当会作成の**『新潟県社会福祉士会入会ガイド』**をご活用ください（ガイドはホームページに掲載しています）

★今年度は新規入会者に対する以下のキャンペーンを実施いたします。

１．若者（30 歳未満）入会キャンペーン
2022 年度からの新規事業。
入会年度に 30 歳を超えない方を対象に、入会初年度の経費（入会金、初年度会費）を無料とします。

２．入会紹介キャンペーン
2022 年 4 月 1 日以降の新入会員として、現会員の紹介により新規にご入会いただいた（再入会は除く）場合、新入会員の方と紹介した現会員の方両方へ、当会の研修受講費に充当できる研修クーポン（5,000 円相当、有効期間 3 年度）を進呈します。

★**2022 年 6 月 26 日（日）に「新入会員説明会」を開催**します（基礎研修Ⅰの集合研修①を兼ねます）。事務局だよりの最終ページにご案内を掲載しておりますので、こちらもぜひお声がけください（ホームページにも掲載します）。新入会員説明会は今年度入会の方だけでなく、2021 年度以前に入会された方もご参加いただけます。

会のスケジュール

※2022 年４月７日現在の予定です。日時、会場等は変更になる場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の状況等を鑑み、中止・延期となる場合があります。

＊年間スケジュール表は当会ホームページ（https://csw-niigata.com/）でもご覧いただけます。

◆2022 年４月

日程	時間（予定）	内容	会場（予定）
4 日(月)	18:30～19:30	高齢者支援班会議（虐待防止研修作業部会）	Zoom ミーティング
6 日(水)	18:30～20:00	ぱあとなあ新潟本部運営委員会	Zoom ミーティング
	18:30～19:30	高齢者虐待対応専門職チーム相談対応検討部会（2022 年度第 1 号事案）	Zoom ミーティング
14 日(木)	14:00～	事務局会議	ユニゾンプラザ
18 日(月)	18:30～19:30	法人研修班会議（全体研修会打ち合わせ）	Zoom ミーティング
21 日(木)	14:00～	総合企画会議	ユニゾンプラザ
27 日(水)	18:30～	内部役員会	Zoom ミーティング

◆2022 年５月

日程	時間（予定）	内容	会場（予定）
6 日(金)	夜間	障がい者権利擁護チーム会議	ユニゾンプラザ
7 日(土)	13:00～16:30	第二期成年後見利用促進基本計画説明会（日本社士会主催）ライブビューイング	ユニゾンプラザ 長岡市さいわいプラザ
12 日(木)	14:00～	事務局会議	ユニゾンプラザ
	18:30～20:00	新潟県ソーシャルワーク連絡会	Zoom ミーティング
19 日(木)	14:00～	総合企画会議	ユニゾンプラザ
20 日(金)	10:00～	理事会	ユニゾンプラザ
22 日(日)	9:30～16:40	基礎研修Ⅲ	Zoom ミーティング
26 日(木)	9:15～17:00	新潟県高齢者虐待防止研修（介護施設職員向け） ※新潟県委託事業／1 回目	Zoom ミーティング
28 日(土)	9:30～16:30	基礎研修Ⅱ	Zoom ミーティング
29 日(日)	9:00～12:00	基礎研修Ⅱ	Zoom ミーティング
	10:00～12:00	ぱあとなあ新潟全体会	Zoom ミーティング

◆2022 年６月

日程	時間（予定）	内容	会場（予定）
4 日(土)	10:00～15:00	愛着障害の理解と支援の基本 repeat！	Zoom ミーティング
5 日(日)	7:30～8:30	Zoom ミーティングの基本操作講習会＠朝活	Zoom ミーティング
9 日(木)	14:00～	事務局会議	ユニゾンプラザ
11 日(土)	20:00～21:00	Zoom ミーティングの基本操作講習会＠夜活	Zoom ミーティング
16 日(木)	14:00～	総合企画会議	ユニゾンプラザ
18 日(土)	午後	会員定時総会、全体研修会	ユニゾンプラザ、Zoom
19 日(日)	9:30～16:00	基礎研修Ⅲ	Zoom ミーティング
24 日(金)	9:15～17:00	新潟県高齢者虐待防止研修（介護施設職員向け） ※新潟県委託事業／2 回目	Zoom ミーティング
25 日(土)	9:30～17:00	基礎研修Ⅱ	Zoom ミーティング
26 日(日)	9:00～16:50	成年後見人材育成研修（1 日目）	Zoom ミーティング
	13:15～16:30	基礎研修Ⅰ＆新入会員歓迎会	Zoom ミーティング

編集後記

本当は３月に出したいと思っていた「事務局だより」ですが、毎年恒例の年度末の忙しさに追われて少し遅くなってしまいました。会員のみなさまには心よりお詫び申し上げます。ホームページはできるだけ速やかに、こまめに更新するよう心がけておりますので、ホームページ更新情報を受け取れるメール登録をしていただければ幸いです（本紙９ページ参照）。

世界で起きていることから目をそらしてはならないと思いつつ、繰り返し流れるニュース映像に、ついテレビの電源を落としてしまったりもする日々です。１日でも１分でも早く、戦争が終わりますように。

（は）

2022 年度（公社）新潟県社会福祉士会

社　会　福　祉　士　会　へ　よ　う　こ　そ　！

新入会員説明会

2022.6.26（日）13:15～16:30

基礎研修Ⅰの集合研修初日を「新入会員説明会」として公開します。

（基礎研修Ⅰをすべて受講しなくても、説明会だけの参加も可能です）

新入会員のみなさまを対象に、**当会の組織や活動、参加方法、社会福祉士として会をどう活用したらよいか**、などをご説明いたします。

2022 年度新入会の方だけでなく、それ以前に入会した方にも勿論ご参加いただけます！

■実施方法：オンライン（Zoom ミーティング）

■参加費：新入会員説明会のみの場合、**無料**

※基礎研修Ⅰとして全日程を受講したい場合は、「基礎研修Ⅰ」の申込書で別途お申込みください。

※基礎研修Ⅰの詳細は、「2022 年度基礎研修Ⅰ開催要項」をご参照ください。

【プログラム予定】

①　オリエンテーション　②社会福祉士会のあゆみと組織　③社会福祉士会の活用方法

参加をご希望の方は、下記にご記入のうえ FAX：025-281-5504　または

メール：njacsw@poplar.ocn.ne.jp で下記事項をご連絡ください（メールの場合、件名は「新入会員説明会申込」としてください）

お名前		**会員番号**	
ご所属 （ご勤務先）			
職種・職名			
携帯電話	＊オンライン研修にあたり当日に連絡が必要となる可能性もございますので、携帯電話番号をあらかじめお聞かせください。		
メールアドレス			

★参加に関するご案内等はメールでお送りいたします。njacsw@poplar.ocn.ne.jp からのメールを受信できるよう設定をお願いします。

【申込しめきり：6 月 10 日（金）】